



# 1 学年通信

第4号

令和元年10月18日発行  
 福岡県立久留米高等学校  
 校長 木本 和宏  
 第1学年主任 野本 智

## 『 準備 』

1年 4組 担任 古賀政次郎

現在、ラグビーワールドカップが日本で行われています。日に日に盛り上がり、ご覧になられている方も多いのではないのでしょうか？先日、日本代表が世界ランキング2位(10月6日時点)のアイランドに19対12で劇的な勝利をあげました。私は小学1年生からラグビーをしていたので、前回の大会の南アフリカの勝利も同様ですが、心の底から感動して胸が熱くなりました。日本代表が成長して強くなっていることは、4年間のテストマッチ(海外のチームとの試合)の結果で知ってはいました。競った試合はできるかもしれないとは思いましたが、まさかアイランドを倒すことができるとは正直思っていませんでした。ラグビーファンとしては応援していたものの恥ずかしいばかりです。

試合後の選手たちのコメントには

「奇跡なんかじゃない」

「3年間準備してきた結果」

「勝つと信じてたのは僕らだけ」

など自分たちがこの大会のためにたくさんの準備をしてきて、勝つことが

「偶然ではなく必然だった」

と相手をリスペクトした言葉の後に、胸を張ってこのようなコメントをしていました。

これは、いかに相手を想定し、自分たちと相手を分析してトレーニングを重ねてきたのかを物語っていることだと思います。実際に、大会前の合宿で選手たちは「こんなにきつい練習をしたことがない」と口々に言っていたぐらいです。そのことが、自信になり、勝利に結び付いたのではないのでしょうか。

きっと日本代表はしっかりと「目標」のもと「計画的」に強化をして「準備」してきたのだと思います。

さて、久留米高校に入学して半年が過ぎました。高校生活にも慣れてきて、将来に向けての未来予想図が少しずつできてきたのではないのでしょうか。その一方で、日々の学校生活や宿題に追われ目標を見失っている人もいるのではないのでしょうか。

そのようななかでも、一日一日受験する勝負の時が近づいてきています。まだまだ、先が見えずに戦い方もわからないかもしれませんが、受験で勝利するために自分なりの「目標」を持ち、それに向けての「計画」を立て、受験に勝利できるようにしっかりした「準備」をしてください！

～ 生徒の皆さんへ ～

被服実習のときに裁縫道具セットを運んでくれてありがとう。  
 風に吹かれて床に落ちたプリントを一緒に拾ってくれてありがとう。  
 マスクをして歩いていると「大丈夫ですか？」と声をかけてくれてありがとう。  
 すれ違おうと、いつも笑顔で挨拶してくれてありがとう。

～ いつも支えてくださる全ての人へ ～

体調が悪いときに限らずいつも優しい言葉をかけてくださりありがとうございます。

検診のある日は、授業変更など協力してくださりありがとうございます。

不安や苦痛に耐えながらも、私を産んでくれてありがとう。

健康に育てるために、食べ物となってくれる生き物や植物、生産者にありがとう。

今、私の体の中には2つの心臓があります。私の命と新しい命です。現在、妊娠4か月(14週目)で、安定期と言われる5か月目(16週目)まであと2週間となりました。まだまだ安心はできませんが、たくさんの方々に支えられて、新しい命を生かしていただいていることに日々感謝しています。本当にありがとうございます。

妊娠初期に起こるつわりは想像以上につらく、家の照明の光も換気扇の音さえも苦痛に感じる日もありました。また、無事に育っているのか、うつ伏せになってしまったときには「赤ちゃん苦しかったかな？」など心拍が確認できた後でも不安ばかりで1日経つのがとても長く感じました。しかし、12週目の検診で身も心も塞ぎ込んでいたとき、お医者さんが、「赤ちゃんの心臓の音を聞いてみようか！」と笑顔で、私の腹部に機械を当ててくれました。すると、「ドクドクドクドク！」と力強く大人よりも速い心拍音が診察室に鳴り響きました。その音はまるで「心配しなくてもわたし(ぼく)は生きているよ！！聞こえる？！」と力強く訴えかける声のように聞こえました。ずっと不安ばかりで埋め尽くされた心が一気に解れて自然と涙がぼろぼろとこぼれ落ちてきました。

妊娠初期の一部分の経験ですが、「一生懸命生きること」それを見せることが最大の親孝行なのではないかと思うようになりました。また、一生懸命に生きることができるように、親がどれだけ心配したり苦痛に耐えたりして生かしてくれていた(る)のか、また親の不調を心配してくださった方々の存在を想像すると感謝せずにはいられません。

生徒の皆さんの命もたくさんの人に生かされている命であるはずですが、どうか大切にしてもらいたいと思っています。高校生活を送る中で、勉強から逃げたいと思うこともあるかもしれませんが、勉強して培った知識や技術で人を助けることができるかもしれません。逆に、人を助けたいと思っても知識や技術がなければ人を助けることができないかもしれません。

もう一度書きます。皆さんの命は生かされている命です。人の命も生かしていかなくてはいけません。命のつながりを意識して一生懸命生きていこう。

## 2学期中間考査 各教科講評

### 国語

現代文・古典ともに、1学期より難しくなり、点数が思うように伸びなかった人も多かったと思います。現代文については、問題量が増し、正確性と同時にスピーディーに解く力が求められます。その為には、授業前に教科書を読み込み、予習プリントに取り組んでおくことが大切です。古典は、古文の助動詞、漢文の句形や語彙を増やしていくしかない。まだまだ今から。焦らず、じっくり頑張っていきましょう。

### 地歴・公民

現代社会は考査範囲は狭かったのですが、内容が多少難しくなっていました。そのため1学期中間・期末考査よりも平均点が下がっています。特に大日本帝国憲法の条文などがよく理解できていなかったようです。また、重要語句・用語などの漢字間違いも目立つので、必ず書き出して正確に書けるようにしておいてください。期末考査ではしっかりと準備して挽回してください。

### 数学

数学I、Aともに基本的な問題が取れているかどうかで差がつかれました。数学Iについては今後の分野につながっていく大切な内容です。数学Aについてはこの内容を次に復習するときにはもう入試です。どちらも今、完璧に復習して基本事項の理解と定着を図るようにしてください。

### 理科

地学：量が増えた中で、点数差が少し広がってきています。暗記する能力は他教科を通して鍛えてきて、着実に身につけているはずですから、期末考査も計画的に取り組んで、頑張っていきましょう。  
物理：今回は前回と違って、しっかりと努力をした人には結果が出ています。努力したのに…という人、何も見ずに自分の力だけで問題を何度も解きなおしてみましょ。また、問題を解いて、“分からないところは必ず納得いくまで解決する”、その意識が大きく結果に現れると思います。がんばろう！  
生物：今回は勉強をした人とそうでない人で点数に差が出ました。できなかった人はまず基本用語を覚えるところから始めましょ。その際、見るだけでなく、問題演習もやって用語を覚えましょ。そして計算問題はできるまで何度も繰り返し演習ましょ。

### 英語


文法に関しては、基本例文を暗記しているものの、文法のポイント自体を理解しないまま、丸暗記しているものが多い。そのため、文法用語自体を覚えていないものや文法用語と例文が結びついていないものが多い。たとえば、形式目的語構文や分詞構文、独立分詞構文と聞いてそれが何か分からない状態になっている。解決策は3つある。①breakthroughの参考書を予習、復習で読むこと。②ノートに基本例文と、文法ポイントをまとめなおすこと。③27章やワークブックに取り組む際に、答えを写さず、どのポイントや公式を使っているか、明確にすること。そのようにしてポイントを理解し、その語はひたすらに音読筆写。また、応用編として、文法の力を伸ばそうと思ったら、3つのことが大切です。①1つの文法のポイントごと、基本例文ごとに自分なりに簡単な文を書くことである。②数多く問題にあたることである。問題が欲しければ、いくらでも提供しますよ。③計画的に以前学んだ文法を復習することである。文法が分からない大きな理由の1つが、忘却である。



## 令和元年度 久高祭

### 1年生……合唱コンクール表彰

 優勝・・・ 奏 ……………1年5組

 準優勝・・・ 結一ゆいー ……………1年2組

☆ 最優秀指揮者 1年4組 田中怜流 さん

☆ 最優秀伴奏者 1年5組 樋口七海 さん

